

指宿特別支援学校 高等部の学習

高等部では、卒業後の豊かな生活や進路の実現に向けて、これまでの学習や生活経験で学んだことを生かし、実際の社会生活で生かすことができるよう、教育活動全体を通して、自分から主体的に学び、社会に参画しようとする力を身に付けることができるようにしています。

日常生活の指導

小中学部（小学校，中学校）で培った日常生活上の基本的な生活習慣や社会性を実生活で般化することができるよう指導を行います。

生活単元学習

生徒が生活上の目標を達成したり，課題を解決したりするために，一連の活動を組織的に経験し，自立した生活に必要な事柄を実際的・組織的に学習します。広範囲に各教科の内容が扱われ，身に付けた内容が実生活に生かされていきます。

作業学習

班別作業・・・「園芸」「手工芸」「窯業」の3つの作業班のいずれかに所属し（学年を解いた縦割りの編成），製作活動を通して働く意欲を高め，仕事をする際の望ましい態度や言葉遣い，健康・安全，対人関係など社会生活に必要な基本的な事柄を，卒業後の進路希望と併せて身に付けることをねらいとしています。



〈園芸班〉



〈窯業班〉



〈手工芸班〉

販売学習・・・ 作業学習で製作した商品を自分たちで販売する学習です。働く喜びを実感するとともに接客や金銭の取扱いなどを総合的に学びます。また，地域の皆様との貴重な交流の機会にもなっています。

- ・ いぶとくマーケット（中・高等部及び福祉サービス事業所との合同販売）

全体作業・・・ 高等部全員で，校内の環境整備や美化活動に年数回程度取り組みます。

協力や役割分担，体力をつけたり，清掃技術を磨いたりすると共に，自ら進んで学校（自分が所属する場）をきれいにする態度を養います。



〈全体作業班〉



〈いぶとくマーケット〉

教科別の指導

個々の発達段階に応じて、生活上の課題に添ったねらいや生活に結び付いた具体的な学習活動を選定し指導しています。（国語、数学、音楽、美術、保健体育）



〈国語〉



〈数学〉



〈保健体育〉



〈美術〉

○ 総合的な探究の時間「なのはな」

現在及び卒業後の生活や社会に関心を持ち、身近な課題に関する体験的な学習や課題解決に向けた学習を行い、生活の幅を広げ、生活をより豊かにする主体的な態度を育成することをねらいにしています。また自分や友達の良さに気づき、協力してよりよく生きようとする力も育てていきます。

【主な学習】

私たちの進路（副読本の使用）、卒業生による講話（社会で働く卒業生の体験談等）
地域の清掃活動（ボランティア）、ALTとの交流活動、余暇の過ごし方
いぶたまおもてなし学習

○ 自立活動…教育活動全体で行う指導と時間を設定して行う指導を行っています。

（知的障害課程と重複障害課程では、指導時間が異なります。）

○ 特別活動…ホームルーム、児童生徒会活動、学校行事など



〈「いぶたまおもてなし学習」〉



〈自立活動〉



〈児童生徒総会〉

○ 産業現場等における実習…作業学習の発展的な学習として、生徒の適性や進路を見据え、校外の企業や福祉サービス事業所で実習を行っています。年2回、2週間ずつ実際の企業等で「働く」「生活する」学習を行うことで、卒業後の社会生活に対する理解を深め、社会人として望ましい「働く・生活する」習慣を身に付けることを目的にしています。



〈野菜の袋詰め作業〉



〈土器の選別作業〉



〈飲食店での食器洗浄〉

○ その他の進路指導に関わる学習や行事等（外部関係機関が企画されている行事等にも積極的な参加を推進しています。）

職場見学、職業ガイダンス、実習激励会・反省会、就労支援セミナー、職場実習のための事業所面接会、障害者就職面接会、鹿児島県障害者技能競技大会、特別支援学校技能競技大会